

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 リバース型人工肩関節全置換術における術後成績の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋 病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 教授 池上 博泰

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科では、リバース型人工肩関節全置換術(※1)の術後成績について検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、リバース型人工肩関節置換術の臨床成績の向上や今後のインプラント選択や開発につながります。

※1 リバース型人工肩関節全置換術とは、変形した関節を金属やポリエチレンなどのインプラントで置き換える人工肩関節の一種を指します。腱板機能が保たれている症例に対しては、解剖学的人工肩関節全置換術が行われていますが、腱板機能が破綻している症例や腱板機能が著しく傷害されているリウマチ肩症例、高度に粉碎した骨折症例には、上腕骨と肩甲骨側のインプラントを逆にした人工関節を使用します。日本整形外科学会が作成したリバース型人工肩関節全置換術適正使用基準に則って手術を施行することが推奨されています。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。
対象者:2014年6月～2020年12月までに、変形性肩関節症に対してリバース型人工肩関節全置換術を受けて、東邦大学医療センター大橋病院整形外科において術後の定期診察をしている方(約92人を対象としています。)

方 法: 診療録からさまざまな情報を抽出し、そのデータを集めて解析を行います。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、治療歴、副作用等の発生状況、画像評価(術前・術後の肩関節単純 X 線や単純 CT 画像)、及び診察時患者立脚型評価(アンケート)

【研究組織】

施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究責任者: 池上 博泰 役職: 教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【利益相反について】

本研究は研究者が企業等とは独立して計画し実施するものです。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 教授 池上 博泰

電話 03-3468-1251 内線 2032